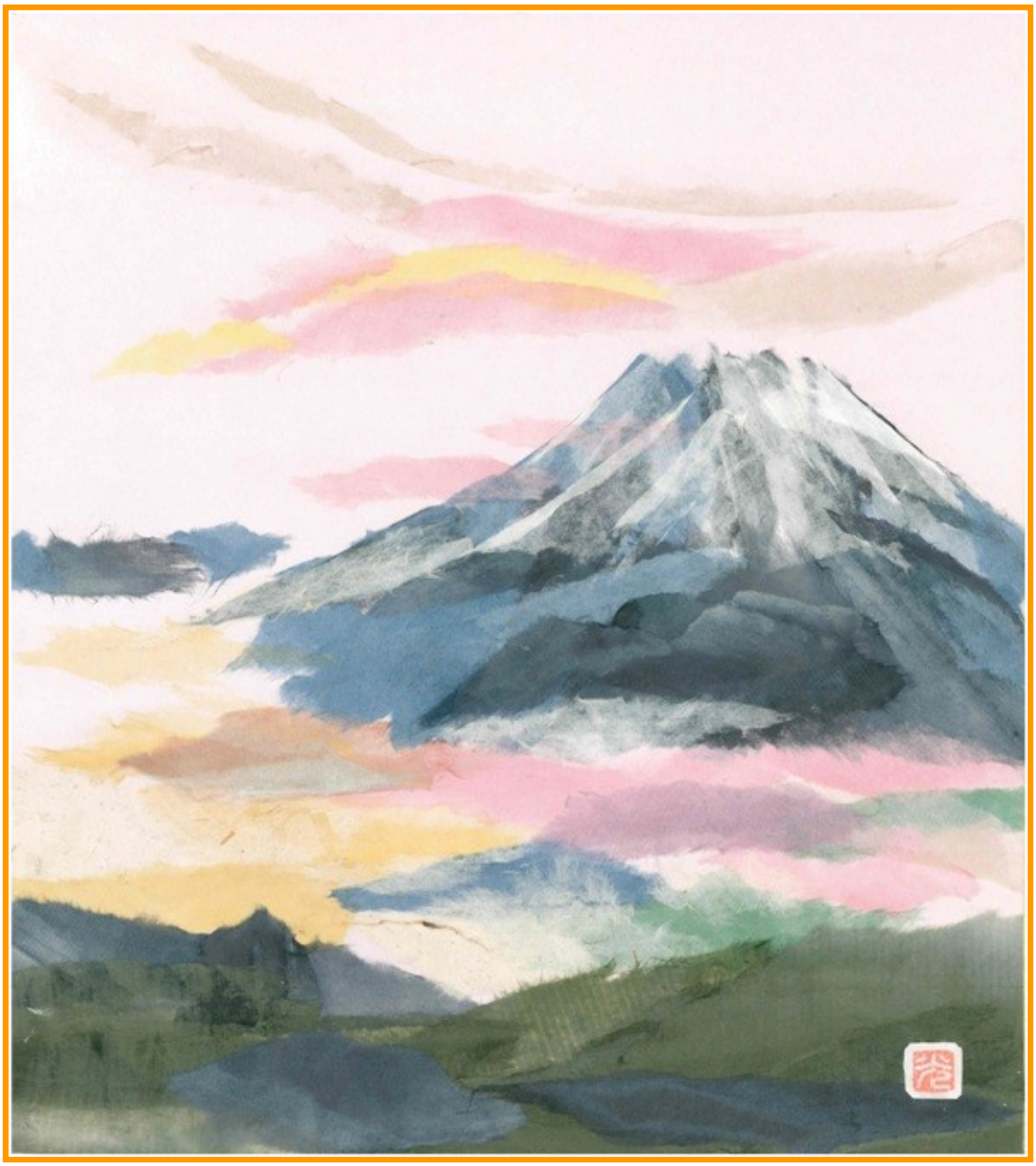
全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第６１号(平成30年２月号)



初春や今年も行く道不二の山（直人）

全日本私塾教育ネットワーク
センター事務局　鈴木　正之
〒140-0014　東京都品川区大井1-54-6　いぶき学院内
TEL:03-5743-7458　FAX:03-5743-7459
Mail:center-office@shijyuku.net
理 事 長　仲野十和田
TEL03-3963-5572
広報部長　大住　明敬
TEL048-957-8608

理事長コラム

理事長　仲野十和田（ナカジュク・東京都）

昨年11月26日（日）、当会の友好団体である千葉学習塾協同組合（JAC）の３０周年記念式典が、幕張にて行われました。会場のスペースがゆったり取られていて、豪華さを感じる場所でしたが、託児施設を設けるなど、若い実行委員ならではの配慮もあり、アイデアの溢れている会でした。また、『蒼天』（記念誌）を開いてみると、国内外の学習塾研究者の寄稿があるなど、格式の高い編集になっていたのが印象的でした。その日、西出前理事長が私塾ネットへの入会を決めていただいたのも朗報です。もちろん、佐久田現理事長も私塾ネット会員です。

さて、その日、４月の私塾ネット全国研修大会講演者の蓮池薫氏をご紹介くださった日米文化学院の柳田晋次先生（浩靖会員のお父様で元千葉学習塾協同組合理事長）とゆっくりお話しをする機会を得ました。数々の講演をお聴きされている中、蓮池氏のお話はとても感銘を受けたと、今回仲介の労を取っていただきました。蓮池氏は中央大学在学中に拉致され、帰国後中央大学の計らいで入学を許可され卒業されました。柳田先生は当大学の学員会本部（同窓会）副会長をされており、その繋がりでこの講演が実現にいたりました。ご想像がつくと思いますが、この時期に拉致被害者である本人を簡単に呼べるものではありません。柳田先生曰く「デート中目隠しされて船に乗せられ、何があったかわからない状態で北朝鮮に連れて行かれた。それは、１時間単位でものすごい話になりますよ」と。拉致被害と教育、一見テーマが違うような気がしますが、隣国を知り、隣国から日本はどう見えるのか？それは、これから生きていく上でとても大切なことだと感じました。どうぞ皆様貴重な機会ですので、是非お越しください。

12月３日（日）は、塾団体合同忘年会が銀座ライオンで行われ、エリア関東代表の渡辺浩先生が実行委員長として活躍しました。主要団体の若手幹部を実行委員に推挙し、みんなが交流できることを意識した会は、和気あいあいの雰囲気の中、素敵な宴になりました。参加した方々からも大変好評でした。エリア四国からも湯口先生、寺嶋先生がお越し下さり、嬉しかったです。

受験や募集で心身ともに多忙な時期だと思いますが、くれぐれも体調など崩さずにお過ごしください。それでは、４月２２日（日）に東京で皆様にお会いできることを楽しみに、お待ち申し上げます。

平成３０年度特定サービス産業実態調査に関して

私塾ネット　理事長　仲野十和田

経済産業省より、「平成３０年度特定サービス産業実態調査」の関係書類が、調査対象事業所・企業に送付されます。この調査は、特定サービス産業の売上高等の経営動向を把握し、景気動向の判断材料に資するとともに、産業振興施策、中小企業政策の推進及びサービス産業の健全な育成のための基礎資料を得ることを目的として、「特定サービス産業動態統計調査」を毎月実施しており、その結果は、ＧＤＰ統計や第３次産業活動指数などの経済指標の基礎データ等広く活用されています。

会員の皆様にはご多忙とは存じますが、対象事業所となった場合、積極的に調査に協力し回答をお願いする次第です。よろしくお願いいたします。

予告

全日本私塾教育ネットワーク

「第１６回　全国塾長･職員研修」

蓮池　薫先生　『夢と絆』

～翻弄された運命の中で～

平成３０年（2018）４月２２（日）

＊詳細は６～８ページをご覧ください！

エリア通信

エリア東北　代表　安藤水無子
（Andy's・青森県）

立春も過ぎましたが、春はまだまだ遠いようです。今日のニュースで、今週末に、再び最強の寒波がやってくると伝えていました。前回の寒波では、ここ八戸も最低気温がマイナス９度と、朝起きて部屋の温度計が一桁の日が何日か続きました。更に今年はインフルエンザが猛威をふるい、なんと塾生の三分の一強がインフルエンザに罹ってしまいました。毎日塾の電話が鳴るたびに、「インフルエンザで、塾しばらく休みます。」の欠席電話かと、ビクビクしています。なんとか受験までのあと一ヶ月を生徒共々元気にのりきりたいと、真剣に毎日神棚に祈っています。

教育後進県の青森ですが、八戸からあの開成高校を受験する中学生がいるという話を聞き、驚きました。（残念ながらうちの塾生ではありませんが）その他にも仙台の公立高校や、東京の私立高校を受験する（親の仕事の都合での転勤ではなく）中学生もいるということで、今までとは違う流れが八戸の子ども達にもできつつあるのだなと感じています。

昨年のエリア東北は、東京で行われる全国塾長・職員研修大会に合わせて、東京で総会を行いました。（笑）

秋には、エリア関東と合同で「STEP宿泊研修」行い、（合同とありますが、関東の先生方のプランにお任せで、湘南・鎌倉観光とすっかりお世話になりました。STEPの高橋先生には「また来年もやりましょう。」と言っていただき、今回参加したメンバーはもちろん、残念ながら今回参加できなかったメンバーも、来年は是非参加したいと言っています。

エリア東北としての活動は特になかったのですが、宮城県の「大沼学院」と青森県の「学びの診療所ー個別指導Axis観光通り校」の２塾の新会員が増えました。大変ありがたいことです。今年のエリア東北は、まずは４月の研修大会に参加して全国の先生方との交流を深めていくところから活動を始めたいと考えています。全国の先生方、よろしくお願い致します！

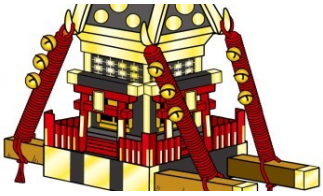
エリア関東　代表　渡辺　浩
（渡辺塾・東京都）
～この一年を振り返って～

昨年の四月に私塾ネット関東代表という大役を仰せつかり、早いもので一年が経とうとしています。この一年を振り返ってみると、あっという間の一年でした。春には全国研修大会、９月には会員でもある『ＳＴＥＰ』さんの保養施設をお借りしての宿泊研修（ほぼ慰労会みたいなものですが笑）、１０月には秋の研修大会で国語に特化した研修を行いました。さらに１２月には恒例となりました私学情報交換会。桂馬先生を中心に私学の先生をお呼びして、会員塾向けの説明会を催しました。私塾ネット関東は私学の先生方とも親しくお付き合いをさせていただいておりますので、その後の懇親会・忘年会を兼ねての二次会と最後まで私学の先生にもお付き合いいただきました。

個人的には秋の国語科研修大会が印象に残っております。自分自身が日頃自塾で国語を指導しているためか、「国語の指導法を教えてもらえないか」とか「国語の成績の上げ方はどうするか」などのご質問をよく受けます。確かに英語や数学と違って国語ははっきりとした正解が出にくい教科ではありますので、なかなか生徒さんの成績が目に見えて向上していくというのは簡単ではないのかもしれません。ただ、文章を味わうとか作者の背景を考えてみるといったものは一旦置いておいて、定期テストなどや入試などの試験に特化してみると、意外に塾がやるべき指導というものが見えてくるかもしれません。試験であるいじょう必ず正解というものがございます。選択問題であればどのようにすれば正解の選択ができるか、記述であれば模範解答に書かれているような文章をどのようにすれば書けるようになるか、など一定の目標を定めると自ずと方向性が見えてくるのではないでしょうか。前回の研修大会ではそのようなことを生意気にも述べさせていただきましたが、会が終わった後も多数の先生から続きをやってほしいというご要望がございましたので、可能な限り今年もチャレンジしてみたいと思います。

最後に、エリア関東の細かい事務作業を一手に引き受けてくれた総務部長の長江先生には感謝しかありません。今年も色々なことをお願いすることがあるかと思いますが、今年も宜しくお願いいたします。

日本列島縦断
北から南から



エリア中国　代表　佐藤　将紀
（若竹塾・広島県）

中国エリア　２０１８年の抱負

■佐藤 将紀【若竹塾】
今年７０歳を迎えます。この１年を最後と考え全力でしかも楽しく子供達とむかいあっていく所存です。

■田中 達朗【あさひ塾】
①きちんと話を聞く。②即時対応行動をする。③自然に無理しないで元気に頑張ります。

■林 恵美子【E-juku はやし塾】
子供たちの夢の実現を目指して邁進していきます。生徒が何をやりたいか目標を掲げるように声をかけて、学習の必要性を本当に感じてもらい、あきらめない気持ちにさせたいです。

■冨田 剛史【宇部進学教室】
今年度は、塾として英語４技能の向上に取り組みます。中高生は、２０２０年度から導入される大学入学共通テストに向けた民間の検定・資格試験への対策を行うとともに、小学生は、今年度から先行実施される次期学習指導要領の内容に対応した授業を行うことで、英語力の早期定着を図り、生徒・保護者のニーズに応えていきます。

■河浜 一也【学習共同体河浜塾】
教育改革に対応するように取りくんで来ました。今年は、塾のカリキュラムや体制を大きく改革する予定です。変化の年と位置づけて、今年も前進、前進！

■増井 佐世子【学習サークルTerra】
新年のお喜びを申し上げます。昨年、私塾ネットに入会いたしました。研修会等、大変勉強になりました。目から鱗です。この学びを力に、今年は大きく飛躍したいと思っております。

■影山 昌秀【駿英】
あけましておめでとうございます。幣塾は昨年３０年を迎え、そろそろ事業承継の時期になってまいりました。そうは言っても早急にできるものではありません。「守破離」を大切にしながら長い時間で積み上げてきた理念をしっかりと次世代に伝えていきたいと考えております。

■田中弘樹【田中学習会】
今年も生徒と保護者と社員の幸せを願って、地道にコツコツ歩んでいきたいと思います。生徒保護者に対しては今一度基本を強く意識して、生徒の学力・人間力の伸長に本気で挑み、社員に対しては、仕事を通しての生き甲斐を創造し、定年まで安心して働ける職場に少しでも近づけることを目指します。

■西川 敏博【ノーベル学習館】
昨年も今年も来年も変わることなく、保護者の皆さんと子ども達と共に学び共に育ちます。そして行きたい学校に進学し、やりたい仕事で喜びを感じながら社会に貢献する人材を仲間と共に育てていきます。

■西本 雅明【パワーゼミ西本塾】
私塾ネット中国としては、２年に一度くらい大きな研修会をして、お客様を招待したいと思います。自塾としては、自立学習を上手に授業に取り込みたいと考えています。

■平岡 文夫【平岡塾】
昨年はおかげ様で乗り切れました。新年度も気力、体力を持ち続けてがんばります。
平岡塾に通ってよかったと思ってもらえる生徒を一人でもふやすことを目標にします。

■吉長 あけみ【吉長塾】
私の塾は、今年4月で40周年を迎えます。スタッフ、生徒や保護者の方々のおかげでここまで続けることができました。本当に感謝です。また、私塾ネットの会員になり、先輩方に色々ご指導していただいていることに感謝しています。今、通塾している生徒ひとりひとりを大事に、今年1年頑張っていきたいと思います

エリア四国　代表　寺嶋　謙次
（学習院セミナー・香川県）

明けましておめでとうございます、本年もよろしくお願いします。
昭和63年7月に開塾して今年平成30年でちょうど30年を迎えます。まだまだ所先輩たちからみると若輩者ですがこれからもご指導よろしくお願いします。

こんちには みさなん、らしいうゅの までの しくだゅい です。

この ぶんょしう は、ケブンッリジ だがいく の けゅきんう の けっか、にんんげ は もじ を にしんき する とき、その さしいょ と さいご の もさじえ あいてっれば、じんばゅん は めくちちゃゃ でも ちんゃと よめる という けゅきんう に もづいとて、わざと もじの じんばゅん を いかれえて あまりす。
どでうす？　ちんゃと よゃちめう でしょ？

じゃあ これは よるかめな？

Aoccdrnig to a rseaercehr at Cmabrigde Uinervtisy, it deosn't mttaer in waht oredr the ltteers in a wrod are, the olny iprmoetnt tihng is taht the frist and lsat ltteer be at the rghit pclae. The rset can be a toatl mses and you can sitll raed it wouthit porbelm. Tihs is bcuseae the huamn mnid deos not raed ervey lteter by istlef, but the wrod as a wlohe.

どしうて、にんほご なら すすらら よめて、えいご なら よなめい のか、らしいゅう　までに かえんがて おていね。

「2020年の入試改革」、「英語の4技能」、「小学校の英語教科化」・・・など教育改革が目前にせまっています。子供たちにとって頼りになる指導者であるために我々も情報収集と自己研鑽を重ねなければならないと考えていますのでこれからもよろしくお願いいます。

塾団体合同忘年会

平成２９年１２月３日（日）
ビアホールライオン銀座７丁目店

広報部長　大住　明敬（聖学舎・埼玉県）

一年の締めくくりは忘年会だ　の合言葉？のもと今年も各団体の幹部、私立高校の校長並びに進路担当の先生、そして塾関係の教材販売会社の方々が12月3日（日）銀座のビアホールライオン銀座7丁目店に集った。

今教育業界は大学入試改革や指導要領の改定などに向け大いに揺れている。また自塾を取り巻く塾経営もなかなか混とんとしている昨今、年末の一日大いに羽を伸ばしたいなと思って参加した方が多かったと思う。

今年の進行は私塾ネット関東代表でもある渡辺先生を中心に、村社・長江・蓮・宮沢・中村のネット若手？の先生方が生き生きと動く楽しい会でしたよ

例のごとく安藤大作先生、沼田広慶先生、実吉幹夫先生の時宜を得た挨拶に続き、声の教育社小泉邦人専務の乾杯の音頭で会はスタート。

楽しい歓談の合間に、これもまた例年の如くスピーチや催しが入った。今年は一人7秒ルールとやらで本当に名前を言うのがやっとのスピーチ、各塾団体の紹介（代表して森貞孝先生のあいさつあり）と続き、白髭危機一髪と銘打ったあの有名なゲームがありました。なかなか白髭君が飛び出さないので大変盛り上がりましたね。渡辺先生たちのご苦労を思いながら楽しませてもらいましたよ。

右から大住（聖学舎）、鈴木（いぶき学院）、蓮（彩北進学塾）先生

四国から参加の湯口、寺嶋先生、遠路ありがとうございました

また、今回の料理はたくさんおいしいものがあり、食通？の私にとってとっても良かった。研修会や説明会の懇親会では不足気味のところが多いのに頑張りましたね。企画された先生ありがとう。

忘年会は旧知のお仲間との歓談が楽しいですね。私塾ネットの集まりには今年は四国から湯口先生、寺島先生が来られたこともあり、たくさんの人が集まりましたよ。

楽しい時を持てたのだが、もう一つ何かもの足りないかなとも思った。

忘年会なので和やかに歓談でよいと思うのだが、せっかく塾の諸団体が集まるのですから、各団体の紹介ならびに来年の抱負など各団体の色がもっと出せる企画はないものだろうか。全国には団体に入らず一匹狼の如く活躍されている方もいる。若手で新しい取り組みをされて成功されている方も多い。そんな方たちに団体に入って籍を置くだけでなく、積極的にかかわってもらうことはできないだろうか。そんな意味で、合同忘年会ももっとオープンで間口を広げられないか。各団体も横綱相撲ばかりではなく、関取になろうと意欲に燃える幕下相撲を取りませんか。互いに競争意識を持って活動しませんか。今年1年こんなことをして結果こうだった、来年はこんなことやりますよと発表できる場に忘年会がなればと思う。

全日本私塾教育ネットワーク（私塾ネット）

「第１６回　全国塾長･職員研修」

～誰もが知らなければならないこと～

蓮池　薫先生　『夢と絆』

～翻弄された運命の中で～

平成３０年（2018年）４月２２日（日）
東京・大井町「きゅりあん（品川区立総合区民会館）」
７Ｆイベントホール ＣＤＥ
東京都品川区東大井5-18-1　品川駅から電車で３分。大井町駅より徒歩１分。

研修部長　田中　宏道（LAPIS鎌ヶ谷･千葉県）

今年の私塾ネット全国研修大会は。。。

たくさんの講演を聞かれている方から「日本人として絶対に聞かなければならないお話」として薦められた先生のご講演です。子どもたちや他の方にも伝えなければならないお話。

北朝鮮に拉致された蓮池薫さんのご講演です。

昨年１２月は、拉致被害者で曽我ひとみさんの夫ジェンキンスさん、そして増本るみ子さんのお母様はるみ子さんとの再会を果たせぬままお亡くなりになり、今年「救う会」は「これ以上待てない　政府に今年度中の全被害者救出を再度求める」と運動方針を新しくしました。

折しも今からちょうど４０年間。家出や失踪、強盗などが全く考えられないにもかかわらず、突然にいなくなった家族。家出などとして扱われ、身内の方々が血眼になって探し嘆き悲しんだ事件。まだまだ中国や北朝鮮の共産主義思想に理想があると信じていた人も多かった時代。マスコミも北朝鮮の拉致などありえないと、ある新聞が拉致疑惑を早くから報道していたのに、テレビを含めた多くのマスコミは取りあげもせず、ある事件に関しては「本人の意思で出国」などと報道した新聞もありました。拉致問題は本当かもしれないと世間が疑い出しても、北朝鮮がそんなことをするわけがないと否定し続けたこともあったほど。

何が真実で何が誤りなのか、自分の体で確かめる方法（情報リテラシー）をわれわれが学び、子どもたちに伝えられたらいいですね。４月２２日（日）東京、大井町！　絶対に来てください。

プ　ロ　グ　ラ　ム

第一部　研修大会　　４月２２日（日）

開場　午後１時３０分

大会　午後２時００分～５時５０分

①『オープニング』（４５分）午後２時００分～２時４５分

オープニング　映像で贈る「私塾ネットこの１年」

◇　主催者ご挨拶：私塾ネットセンター理事長：仲野十和田（東京・埼玉：ナカジュク）

ご来賓祝辞　（私学代表、学習塾代表、協賛企業代表）

各エリアからの出席者紹介、そして、エリア代表からお一言

名刺交換、軽くアイスブレイク「自己紹介＆ＧＮＳＴ」

ご連絡

＜休憩　１５分＞

蓮池薫先生　ご講演（９０分）　午後３時００分～４時３０分

『夢と絆　～翻弄された運命の中で～』

1978年7月31日。当時まだ交際中だった今の奥様と一緒に大学の夏休みに柏崎に帰り、二人で海辺で夕日を眺めてた時に拉致された蓮池さん。講演では、ご自身が北朝鮮に拉致された当時の様子や、拉致されている間の北朝鮮での暮らしのお話、また帰国に際しての裏事情など、実体験を中心に拉致問題についてお話をされます。

蓮池　薫　先生　新潟産業大学経済学部 准教授／拉致被害者

【プロフィール】

1957年 新潟県柏崎市生まれ。

中央大学法学部3年在学中に拉致され、24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。

帰国後、1年間の市役所勤務を経て、新潟産業大学嘱託職員・非常勤講師として働くかたわら、中央大学に復学。

2005年には初の訳書『孤将』を刊行。

2008年3月 復学していた中央大学　卒業。

2013年3月 新潟大学大学院博士前期課程　修了。

2013年4月 現在、新潟産業大学経済学部准教授。

＜主な著書＞

訳書:『ハル 哲学する犬』『私たちの幸せな時間』『トガニ』など20数冊。

著書:『半島へ、ふたたび』(新潮社2009年6月刊行)は新潮ドキュメント賞受賞。『拉致と決断』(新潮社) ほか。

『深める。「蓮池薫先生のお話をお聴きして」』（４５分）

午後４時４５分～５時３０分

発表・傾聴・質問「蓮池先生のお話を聴いて」

～　何を思い、何をしていくのか？　～

『ふりかえりと感謝』（２０分）　午後５時３０分～５時５０分

私塾ネット各エリアなどから

謝辞　私塾ネット会長：谷村志厚　（千葉：ＡＩＭ学習セミナー）

ご連絡

第二部『懇親会』　午後６時１５分～８時１５分

熱気あふれる第一部に引き続き、第二部ではお食事をしながらさまざまな意見交換・情報交換をいたしましょう。

主催者御礼およびご挨拶：

私塾ネットセンター理事長：仲野十和田　（東京・埼玉：ナカジュク）

乾杯

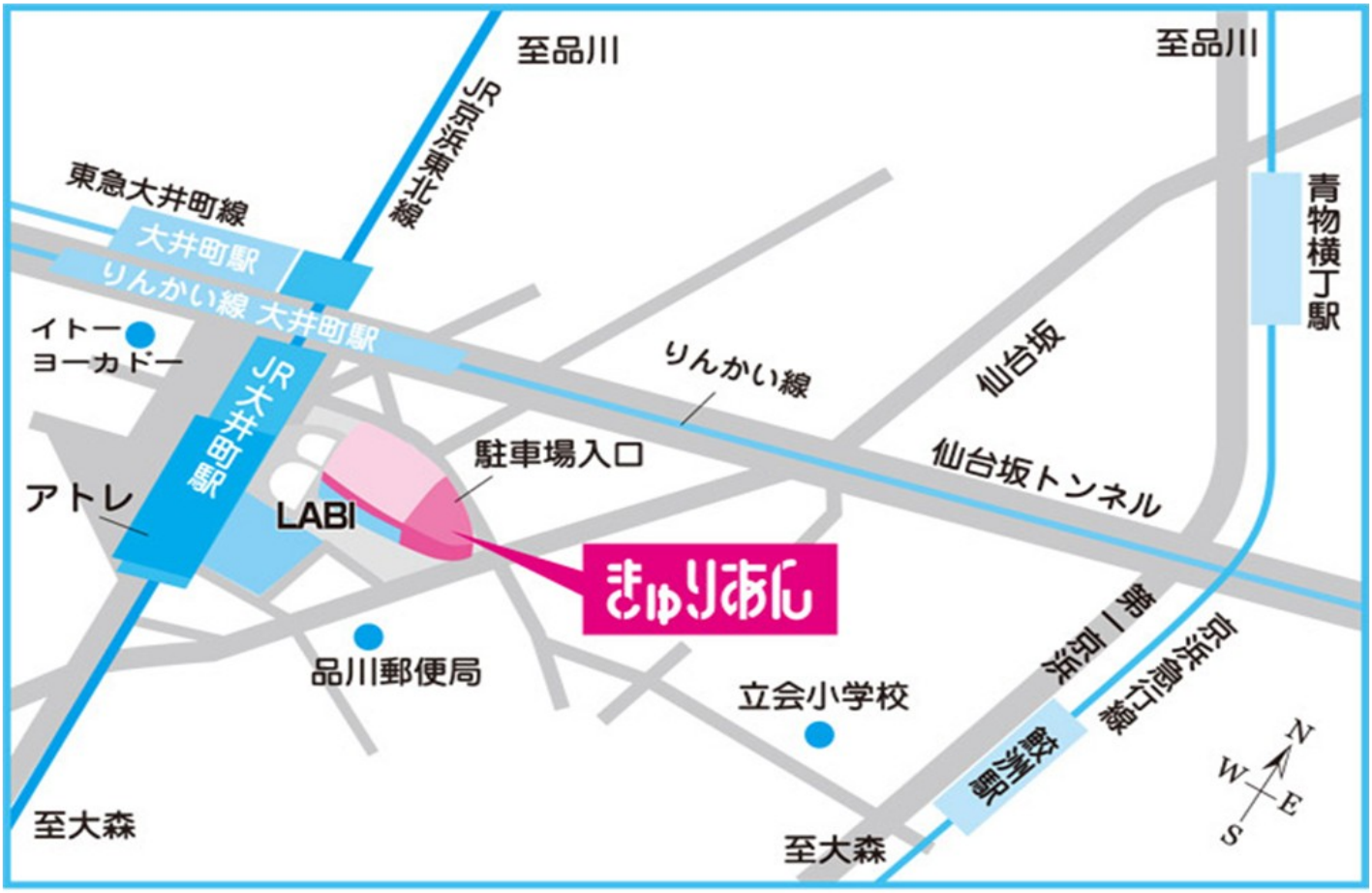
ご来賓祝辞　（政界代表、私学代表、学習塾代表、関連企業代表）

みなさまより、お一言ずつ

私塾ネット　エリア便り

デジタル富くじ！　日本全国、地方色豊かなおみやげを(^o^)　＆　お一言。

研修会費	私塾ネット会員／賛助・協賛会員	非会員
第一部＋第二部（1名追加につき）	１２０００円（１００００円）	１３０００円
第一部のみ	２０００円	４０００円
第二部のみ	１００００円	１００００円



エリア関東　私学情報交換会開かれる

桂馬　辰尚
（桂馬ゼミナール・東京都）

12月１０日、昨年同様ナカジュク板橋教室をお借りして、３５回目の情報交換会が行われました。今回で２９年目を迎えますが、魅力溢れる私学の先生方のすばらしいお人柄を引き出すこの会の企画に、自ずと力が入ります。

ご出席の4校の先生方を簡単にご紹介すると、トップバッターは八雲学園の横山孝治中学部長。先生は、今年教師生活33年目だそうで、横浜出身。地元の大学付属中に入学。中高を通して剣道部で活躍。剣道を生かした進路を考え、教員の道へ。数学の教師になろうと、男子の多い理工学部は避け、女子学生の多い文理学部へ。今のお姿からは想像できない、普通の男子学生だったんですね。八雲学園中学の共学のお話を忘れかけてしまうほど、印象に残るお話をありがとうございました。

二番手は東亜学園の矢野隆校長先生。5年前の平成24年にご出席以来、2回目のご参加を頂きました。今回は、「東亜学園の改革と未来」のお話をされました。時代の変化とともに子供たちも変化して行くので、それをどう教育に生かせるか。学習に力を入れても、スポーツに力を入れていると言われる。体育コースの募集を停止し、総合／特進コースのみに絞るなど、学校も時代とともに大きく変化して行かなければと力説されました。工学博士であられる先生の視点は常に変化に合った改革、これからの東亜学園に期待します。

三番手は駒込学園中高校長・河合孝允先生と企画広報室の上妻美江先生にご出席頂きました。河合先生は、当私塾ネット関東の活動に長くご理解を頂き、情報交換会もおそらく最多のご出席だと思います。先生は、駒込学園企画広報室の生みの親であり、いつも学園から情報発信されて来られました。今回も数多くの資料を頂き、感謝です。今回残念だったことは、懇親会にご都合で、出席頂けなかったため、先生のプライベートのお話が伺えなかったことが悔やまれます。その分、4校のゲストの紅一点の上妻先生が、会場の一遇に美しい笑顔と光を照らして頂き、ありがとうございました。

ラストは東洋高校石井校長先生。先生は、読書好きで、大学で日本文学を専攻。大学の授業でレポートの書き方がわからなくて、三鷹の先生のご自宅までおじゃまして質問されたと言うほどの勉強熱心。就活したものの、これというものがなく、卒業後東洋高校の非常勤講師となる。そして５年間進路を考えながら専任になった時、東洋高校に骨を埋める事を決意し、今年で校長４年目だそうです。国語の教師として、今の高校生は読解力や言葉の力が落ちている。コミュニケーションも足りないことを感じるそうです。これから水道橋を通ると、駅前にある東洋高校を見て、石井先生のがんばっておられる姿を連想すると思います。

懇親会は昨年と同じく、板橋教室近くの中華料理店で開かれました。ここのお店のベストメニューは、何といってもはねつき餃子。今年もアツアツの肉汁のうまさと冷たいビールに感動。懇親会から、元京北中高の川合先生をはじめ、何名かの私学の先生も加わり、アットホームな雰囲気の中で歓談が続きました。お忙しい中、今年もこの会にお集まり頂きありがとうございました。

千葉学習塾協同組合設立３０周年式典開催される

報告：私塾ネット副理事　中村直人

平成29年11月26日(日)に千葉の東京ベイ幕張ホールにて、千葉学習塾協同組合創立(JAC)30周年記念式典が催されました。JACさんと私塾ネットは親しい関係にあり、両団体に属する先生方は、私塾ネット会長の谷村志厚先生をはじめ多数にのぼります。今回私塾ネットとして参加したのは、理事長の仲野十和田先生、センター事務局の鈴木正之先生、ネット関東事務局の長江広紀先生、私の4名でした。

若きリーダー佐久田理事長も私塾ネット会員

第１部記念式典は13:30より、実行委員長：亀山直人先生の開会の辞より始まりました。司会は宮澤歩先生です。次いで、新理事長の佐久田昌知先生のご挨拶。「JACは全国でも最大規模の113塾を擁する団体として活動を続けており、ここ10年でも、3000名が参加する『大学進学相談会』、『公立高校進学相談会』、『新聞検定』、『スクールフェア』、『教材教具展』などのイベントを開催、『JACの広場』という年４回の広報誌も30年欠かさず発行し、活動を続けている。20年前、私はJACの先生方に助けていただき、その先生方とこれからも貴重な時間を共有したい。」という旨のお話がありました。まことにJACさんの活動の規模の大きさ及びその活発さは、特筆すべきものがあります。

次いで、来賓のお祝辞が千葉県中小企業団体中央会・今関光俊専務理事、千葉県私立中学高等学校協会・讃岐谷真一副会長、塾団体を代表して全国学習塾協同組合(AJC)・森貞孝理事長よりありました。

今回創立30年を記念して感謝状の授与がなされました。まず、創立20周年以降の理事長の松浦重雅氏、長谷川洋男氏、西出一信氏に。長谷川先生は、ご病気退院直後でご欠席。

ついで、JACの発展に寄与された、伊能幸一氏、金坂嘉一氏、渡邉龍雨氏の３氏に。

また、JAC創立以来協賛・協力している、進学研究会、総進図書、声の教育社、育伸社の企業４社にも感謝状が贈られました。

JACの創設に参加した皆倉宣之氏が、昨年日本民間教育大賞（民間教育最高功労賞）を受賞したことが報告され、塾と教育社の加藤麻由美社長より氏に花束が贈呈されました。

さらに、組合員を代表して平栗祥克氏に感謝状が贈られました。

当日の参加者に2冊書籍が配布されました。『なぜか私の成績が上がらない。と思ったときにそっと開く本（エール出版）』という設立30周年記念書籍について佐々木肇副理事長より説明がありました。『蒼天』というJAC30年の歩みを綴った記念誌も披露されました。これは、200ページ以上あるボリュームとその内容において貴重な資料となるものです。大変な力作だと思いました。

閉会の辞を鈴木雅規副理事長が述べ、第1部記念式典が終了いたしました。

15分の休憩時間に、今回小さな保育スペースを設けていたことを知り非常に感心いたしました。少なからず利用者がいたそうで、JACさんの細やかな配慮大変立派でした。

第1部記念式典そして第2部はフォトジャーナリスト・長倉洋海氏による「世界、私の出会った子供たちそして家族」と題する講演

第２部は、フォトジャーナリスト・長倉洋海氏による「世界、私の出会った子供たちそして家族」と題する講演が、ご自身が撮影した写真を画面に映しながら行われました。司会は、前理事長　西出一信先生です。氏の「エルバルサドルの少女　ヘスース」というノンフィクションが、2016年に中３の国語の教科書（光村図書）に載り、また9月9日にはＮＨＫのＥＴＶ特集「アフガニスタン　山の学校の記録　マスードと写真家長倉洋海の夢」が放映され反響を呼びました。長倉氏は世界中の厳しい状況下の現地に飛び込み、そこに生きる人間そのものを捉える映像を撮り、文章をお書きになっている写真家です。コソボ紛争地・ザビットの家族→エルサルバドル内戦難民キャンプ・ヘスースとフランシスコ＆田舎町のカルロス→アフガニスタン山の学校・マジャミンたちほか、キューバ・アンゴラ・南アフリカ・アマゾンなど、世界各地の子供たちに長い期間かけて接し、写して来た中でのお話を細かく紹介して下さいました。家族とは。生きるとは。アマゾンの原住民の方が言った「人はどこからやって来たのかを知れば、どこに行くのかが見えてくる」。都会に住むわれわれは「人はどう生きるかを見ることで、学ぶことで、同じ人間として自分はどう生きていくのかが見えてくる。」出会いの中で人は自分の行く道を見つける。学校もある意味でそういう場ではないのか。考えさせられる言葉が次々と出てきました。最後に、西出先生からのご質問にお答えになり、素晴らしい第2部の講演は終了いたしました。

ご自身の写真を映写しての長倉洋海氏の講演風景

センターでバイオリンを弾くのは私塾ネット会員の宮澤歩先生

祝賀会の進行は柳田先生

祝賀会が17時より２時間ありました。司会は、柳田浩靖先生。佐久田理事長の開会挨拶、来賓ご挨拶、アトラクション等とあり（詳細は省略）、実行委員長亀山先生の閉会の挨拶で楽しく盛大な祝賀会もお開きとなりました。

記念式典後の2次会で、私塾ネットとＪＡＣさんとがお互いに親睦をさらに深めたことはいうまでもありません。

来賓祝辞は東京都私立中学高等学校協会副会長の實吉幹夫先生（東京女子学園理事長）

左からJAC第４代理事長柳田（日米文化学院）、第３代谷村、そして柳田時代の副理事長清水貫先生（誉田進学塾）、いずれも私塾ネットメンバー

小学校英語科導入の波紋

広報部長　大住　明敬（聖学舎・埼玉県）

平成30年2月1日、開成中学の正門前では今日の入試応援に来た塾の人間でごった返していた。小雪舞う生憎の天気ではあったが、AとBは自塾の受験生に激励の握手をして試験場に送り出した。帰り喫茶店に立ち寄った二人は、小学校の英語教育、そして今後本格的に始まるであろう中学受験の英語科目追加について話が弾んだ。

A「今年の3年生から英語が必修化され、２０２０年度から教科化されるよね」
B「そうなると通知表に英語の成績が記載されることになり、中学入試でも英語入試が本格化するわけですね」
A「今小学校は５，６年生に外国語活動として英語を必修化しているが、文科省はグローバル化に対応した英語教育の改革を打ち出し、東京オリンピックが開催される2020年から3・4年生は週１～２時間、5・6年生は週3時間の英語授業を目論んでいるようだ」
B「そりゃ、小学校の先生は大変ですね」
A「いやいや、それに伴い中学校の英語授業は英語で行うことを基本にすると文科省は言ってるよ。さらに、高校では加えて英語による発表や、討論なども行うことを目指しているのさ」
B「それに伴って大学入試も2020年から英語4技能を重視した試験に変わるわけですか。英語の教員はさらに忙しくなりそうですね」
A「それで中学入試も英語を入試科目にするわけだ。今年もすでに実施は100校を越えているようだな」
B「どんな具合ですか」
A「出題内容は2極化されているかな。つまり、基礎的な学校とハイレベルな学校に分けられるよ」
B「例えば？」
A「中堅下位校は簡単な英単語や会話レベルだが、上位校は例えば市川中学は英検2級程度の問題だよ」
B「英検2級は高校卒業程度でしょう。どんな勉強すれば受かるのでしょうか」
A「まあ、できる帰国生を受け入れたいのだろうなあ」
B「さっきの話じゃ、2022年の入試からは小3からきちんと学校で英語を学んできた生徒の入試となるわけでしょ、まだ英語入試に取り組んでいない学校はどう考えているのですかね」
A「朝日新聞デジタル版には、開成中学の柳沢校長が英語入試を学内で検討しているようだと報道している。小学校の英語教育は、地域や学校、外国人講師の配置、教師、授業の形態などでかなり差が出る。入試科目とするには、授業を成立させる目的で最低限度のものにするか、合否に反映させるかどうかなど位置づけから考えなければならないと　言われているようだ」
B「英語が入ることで、算数国語など優れた力を持った生徒が入学できないとなるかもしれませんね」
A「そうだよな、今のままの小学校英語では、帰国生入試のようなレベルの高い思考力を問う問題は解けないでしょ。そうなると、我々塾の出番だな。しかし、今の中1レベルの英語授業を小学生にすることではダメな気がするな」
B「そうですね、開成中の先生が4年先を考えて内容吟味するわけですから、我々も今までにないような指導を考えないと開成中学には合格させられないですね」
A「頑張ろう」

二人は熱い気持ちになって話し込んでいて終わる気配がない。外はしんしんと雪が積もりだしてきた。

外国語教育における新学習指導要領の円滑な実施に向けた移行措置案

（文科省HPより構成）

【小学校】◆移行期間（2018.19年度）中の5・6年生
・新たに年間15単位時間を加え50単位を確保し、「外国語活動」に加え「外国語科」の内容を扱う。外国語科の内容については、中学校との接続の観点から最低必要な内容と、それを活用して行う言語活動を中心に取り扱う。
◆移行期間中の3・4年生　・新たに年間15単位時間を確保し、「外国語活動」を実施する。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			小学校全面実施		
	＊17年度中に教材を配付	＊18年度中に教材を配付		中学校全面実施	
H17年度生まれ	中1	中2	中3	高1	高2
H18年度生まれ	小6(+15→50)	中1	中2	中3	高1
H19年度生まれ	小5(+15→50)	小6(+15→50)	中1	中2	中3
H20年度生まれ	小4(+15)	小5(+15→50)	小6(70)	中1	中2
H21年度生まれ	小3(+15)	小4(+15)	小5(70)	小6(70)	中1
H22年度生まれ	小2	小3(+15)	小4(35)	小5(70)	小6(70)
H23年度生まれ	小1	小2	小3(35)	小4(35)	小5(70)

【中学校】移行期間（2018.19.20年度）のうち2019.20年度の1・2年生
・授業時数は追加せず、小・高等学校の接続の観点から、知識・技能について新たな追加した内容と、それを活用して行う言語活動を指導する。
中学校の時数は現行と同様に、年間140単位時間程度。

	外国語科移行措置
	外国語活動移行措置
	中学校移行措置

つばさ高等学院のクリスマス会に参加しました

中村　直人（中村学院・神奈川県）

平成29年12月18日（日）の快晴の一日、埼玉県吉川市にある仲野先生の通信制高等学校サポート校、つばさ高等学院のクリスマス会に参加してきました。吉川駅からバスに乗り団地と住宅地の中にあるビルの2階に教室はあります。ノックして中に入ると、まだ授業？をしているようでしたが、奥のクリスマス会場に通されるとすでに仲野十和田先生、小野田光伸先生ともスタンバイしていて、トナカイの着ぐるみ姿の飛鳥井郁枝先生と大阪のクラリネット奏者の吉田さや佳さんが食事中。お二人とは一昨年の教育不登校フォーラムで知り合いました。

13時からクリスマス会が始まりました。高校生だけでなく、小･中学生もいます。ジュース・お菓子を食べ、父兄からの差し入れのフライドチキンをむしゃむしゃ。さて、仲野先生が挨拶、そして吉田さんを紹介したあとに、吉田さんのクラリネット演奏が始まりました。15時の新幹線で帰るということで一番バッターです。一曲目は、クラリネットのソロで「J.S.バッハへのオマージュ（ベラ・コバーチ作）」。クラリネットの楽器の説明のあとに、つばさの田村かなめ先生（実はピアニスト）との合奏で「チャルダーシュ」。3曲目は仲野先生のギターとの二重奏で「上を向いて歩こう」。やりますね仲野先生。プロとの共演ができ「夢がかなった」とのこと。吉田さんが帰られるので、全員で記念写真を撮りました。

次に生徒さんと先生方でクリスマスケーキ作りの共同作業。手伝ったり・見ている子など色々ですが、特に西中伸先生の頑張りが目立ちました。缶切りなしで缶をナイフで開けるのですから。12月から講師になった西方佐由里先生（四国のK先生の娘さん）もなれない手つきでクリーム塗り。そうして期待以上の立派なケーキが完成し、皆でわいわいといただきました。

最後に、私がＯＫＫで頂いた文房具を、仲野先生の掛け声の下でのゲームで全員に配られ、クリスマス会は無事終了。今日は楽しく皆で過ごしました。教室の雰囲気もゆったりしていて癒される場所と感じました。皆さんここから立派に羽ばたいて巣立って行ってくれることと思います。

随想　Ｔ・Ｙ君のこと

長江勝秋（英数学院・神奈川県）

昭和42年、塾を創立して次の年の4月に4年生のT･Y君が入塾してきた。彼はJRで2駅先の武蔵小杉から通塾してきた。

非常にできる生徒で、中学になると学力別に3つに分けた最上位Sクラスにずっと定着。高校は学区トップの県立多摩高校に合格し、塾では個人指導で通った。大学受験では国立大学の工学部に合格。すぐに塾の講師として雇った。その後、大学院卒業まで勤め、大手電機メーカーに就職した。私との師弟関係は15年間であった。それから3年後、彼から結婚式への招待状が届いた。出席してみると私は主賓でスピーチも頼まれた。私にとって生涯で一番の嬉しい出来事であった。

個人塾であれば同様の話はどこでもあると思うが、これが塾長･講師の生き甲斐･モチベーションの維持となっており、大いなる誇りである。

件のT･Y君であるが、私と同じ区内に住んでおり、ときどき街で会う。現在五十台。出向で地方へ単身赴任中である。二人の女子のパパとして幸せに暮らしている。私とはよき友人として、呑み友達として付き合わせていただいている。

この仕事をしている以上、子どもたち一人ひとりの幸福を見据えていかなければならないと思う。

私塾ねっと誌上句会　第三十回

寒満月後ろに凍る影法師
座布団を枕に寝たる炬燵かな
中村直人（神奈川県）

寒満月の句、なにやらおどろおどろしい印象だが、先の皆既月食の景であろうか。あの夜は全国的に天候にめぐまれたので、多くの人が天体ショーを楽しんだようだ。血塗られたようなスーパームーンの蝕は掲句のような妖気を含んでいた。

流氷にどこ吹く顔の千鳥かな
陽上りて棚田の輝きまぶしけり
長江勝秋（神奈川県）

水鳥が平気な顔で冷たい水の中にいるのはどうしてだろう？体温が高いにもかかわらず、彼らの足はもともと水温程度なのだそうだ。これは「脛足根血管網」という温度調整機能のせいだという。その仕組みにご興味の向きはお調べください。

ラグビーや襟に顔埋め大声援
福笑い仕上がる前の大笑い
木内恭裕（徳島県）

ラグビーが冬の季語。中七の「襟に顔埋め」に冬季の季節感が込められている。来年ワールドカップが日本で開催されるが、試合日程は９，１０月だそうだ。いささか違和感を感じるのは、季節に敏感な日本人だからであろうか。

鬼打豆数が気になる数学者
はるの日のしゅうとめはるのお買い物
十亀幸雄（愛媛県）

以前「博士が愛した数式」という映画がヒットしたが、鬼打豆の句はその世界だな。豆撒きは大豆と相場が決まっていると思っていたが、千葉の成田ではもっぱら殻付きの落花生だという。ピーナッツの一大産地である八街が近いせいだろうが、豆を拾うには好都合らしい。ついでに福も二つ入ってるかな。

出願や黒き根雪を踏みしめて
受験日や梅のつぼみのまだ固し
谷村志厚（千葉県）

今年のような最低気温が零度をきる日が続くと、街角に積み上げられた雪が消えることなく、排気ガスで黒く染まってくる。これを慎重に踏む締めながら、いざ入試の出願。ここで滑るわけにはいかない。

編集部からお願い
次号は5月中旬発行の初夏号です。
投句はお一人3句まで夏季語でお願いします。
投稿はメールshikot@aim-net.co.jpまたは

閑話休題　　編集長　谷村志厚

千葉県の公立入試は、本日２月１４日が前期選抜２日目である。千葉では前期、後期の２期選抜で受験が実施されているが、２年後の２０２０年度入試から制度改革となる。新制度では入試が一本化され、２月下旬に２日間をかけて５教科の学力試験と、面接作文等の高校独自選抜が行われることになる。数年も前から入試制度改革の議論がなされてきたのだが、ようやく小田原評定も決着をみたようである。２０２０年といえば東京オリンピックイヤー、大学入試改革も同年、いやはやなんでかんでも２０２０年に照準を合わせているようだ。世の中が動く時にはさまざまなことが同時多発的に勃発するものだ。オリンピックという誘導剤は爆弾のような威力を持っているようだ。１９６３年の東京オリンピックがそうであったように◆前期選抜初日の１３日、午後５時から入試問題自己採点会を行った。初日に５教科の学力検査があるので可能なことだが、受験生にとっては針のむしろに乗るような心境であろう。したがって強制ではないのだが、彼らはおそるおそるもやって来る。ここで使われる入試問題と解答は、千葉学習塾協同組合の担当部署からメール配信されてくる。お昼前後に英数国の３教科、午後３時すぎに理社が入って準備は完了である。自己採点は、まず白紙の回答用紙に答えを記入させる。国語と英語の作文は採点外としてはずす。生徒が自己採点をした後、解答用紙を回収し、次に講師が再度採点を加える。自己採点はどうしても甘くなりがちなので、２重チェックをして精度をあげるのである。点数はエクセルで集計され、最新の実力テスト（進研または総進テスト）の５教科偏差値を添えて組合の集計担当者に送信する。すると翌日には平均点予想が協力塾に提供されるという仕組みである。まことによくできたシステムで、中小の地域塾が大手塾に対抗するには、たがいに手を組みネットワークを作らなければならないという、「互助組合」の精神を地で行くものといえよう。これも初期の頃はＦＡＸでのやり取りであったのだが、時代は進んだものだ。ことに通信技術の発達は目を見張ることばかりである◆いま紹介したのは千葉学習塾協同組合（ＪＡＣ）の活動の一端だが、１１月に執り行われた設立３０周年記念行事のことが本号１０、１１ページに紹介されている。他団体の行事をこんなに大きく報じるのは如何なものかと、編集担当者としてはいささか恐縮なのだが、なにしろ私の古巣ゆえ目こぼしをいただきたい。現に私塾ネット関東のメンバーのうち１４名がＪＡＣ関係者である。両団体では人と行事の交流も頻繁に行われており、互いの刺激になっていることを思えばお許しいただけようか◆今年も塾カレンダーを自作した。Ａ３サイズ１６ページ建てで壁に吊るすタイプ。２０１８年３月から１９年３月まで１３カ月の暦を掲載している。こだわりは、講習会日程、各種検定試験日そして受験スケジュールなど塾内行事を網羅し実用的な仕上げにしたことである。今月の四字熟語と俳句を配置、月齢を表記し旧暦も読める「お遊び」も付け加えた。じつはもう一つ隠し玉がある。それは表紙をカラーで飾る犬の表情。このワンちゃんはジャックといって当塾の看板犬である。うまい具合に今年戌年にして１２歳の年男とあって、今年一年は宣伝マンとしておおいに働いてもらおうという算段である。参考にとご希望があれば進呈します。ご一報ください。

私塾ネットセンター　事務局通信

事務局長　鈴木正之(いぶき学院)

２年前、地元のもつ鍋やさんに行ったら、なんと卒塾生が店員として働いていた。そして、現在、彼はその店の店長を任されている。

今年の１月に彼にＬＩＮＥをして予約を入れたのだが、さすがに日曜日の２１時過ぎということで予約を入れるまでもない空き方だった。おかげで彼とも会話ができた。「毎日毎日が勉強です。」と彼は言う。「中学時代の勉強なんか何の役にも立たなかった。」と続けた。ちょっと待てと私は思い、「だいたい、中学生のときは全然勉強していなかったじゃないか。」と返す。

彼は中学の時、親に反発して中３の受験前でも勉強をしていない。しかも、夜中に出歩き仲間と一緒に過ごすこともしばしば、お母さんは極めて良い方であったので、息子がそのようになるのは不思議だった。凄く心配されて受験前にも関わらず、受験や勉強のことではなく生活面の相談で何度もお会いした。

同学年の塾生たちも心配して、学校に来れば声をかけ、塾でも温かく彼を迎えてくれた。「（彼を含めて）全員で合格するぞ！」といつも言っていたので、その代の塾生は彼を良い方向に向かわせるという目標に向けて異様に団結し、今は２４歳にもなる子たちだが、濃い付き合いをしている者が多い。

当時の彼はあまり語らなかったが「先輩（友達）の方が自分をわかってくれる。」と言っていたと思う。成績は悪く、勉強もしなかったが、賢い子で学んだことは身につく子であった。彼は結局、都立高校に合格し合格後も高１の途中まで当塾にも通っていた。高卒後その店でアルバイトとして入りそのまま就職したらしい。

「毎日が勉強で、まだまだ学ばなければいけない。」と言う彼。私は「どんなことでも一生懸命にやれば自分の身になるものだ。中学時代は一生懸命にやっていなかった。一生懸命にやれば学校の勉強も大人になって役に立つ。今は一生懸命仕事をしているから自分のためになっている。無駄なことなんか１つもないんだ。」と大人になった教え子に熱くなってしまった。私自身が今やっていること（中学生の指導）が「中学時代の勉強が役に立たない。」と言われて否定されたような気になったからだと思う。

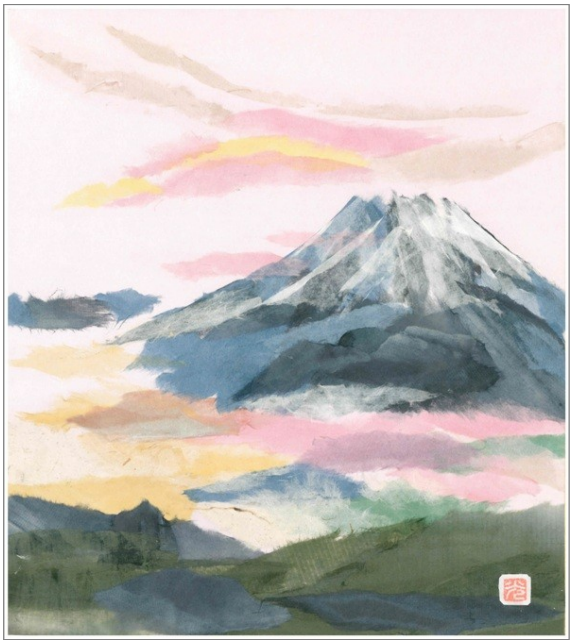
別の塾生の話だが、年賀状に「テレビドラマに出演します。１月〇日〇〇テレビ〇時からです。」その子は２０歳で中学時代「役者になりたい。」と言っていた。彼が中３の時の学校公開、彼が前もって音楽の先生に「塾の先生が来る。」と伝えておいたらしく、音楽の授業で突然楽器を持たされ、子供たちと一緒にアンサンブルをしたという思い出がある。ドラマでは主要な役ではないが台詞をもらっていた。

塾の先生方も学校の先生方も誰でも教え子の成長は楽しみですよね。大人になってからも彼らと付き合い、一緒に夢を見られるということは幸せな仕事であるとつくづく思う。

さて、４月２２日私塾ネットの全国研修に向け、実行委員会も動き始めました。楽しく有意義なひと時となれるように実行委員一同精一杯やりますので、是非、多くの方に足を運んでいただきますよう、よろしくお願い致します。

ちぎり絵歳時記⑧（不二山）

作画・中村光江



初春や今年も行く道不二の山（直人）

富士山は古来から、さまざまな詩歌で詠まれた唯一無二の存在である。俳句とて同様で、正岡子規は生涯に四〇〇句ほど富士山をよんだとか。子規の春の句に「ぼんやりと大きく出たり春の不二」がある。上五にぼんやりとあることから、霞富士か朧富士の景であろう。写生の句であろうとは思えるが、東京は根岸の病床から、富士を夢見て詠んだと解釈しても納得がいくであろう。

「なの花のとつぱずれ也ふじの山」、同じ春の富士を詠んだ一句。はたして誰の作でしょうか。「とつぱずれ＝端っこ」なる俗語を使っている点、なの花、ふじの山とひらがな表記が目立つ点から、この句はあの方の詠んだものかと想像がつく。信濃の国柏原生まれにして江戸期の人気俳人。よく知られている春の一句には「めでたさも中くらいなりおらが春」がある。この句も俗語とひらがな表記が共通している。

ところで江戸の時代の戯れごとに、富士山の姿は駿河が良いかそれとも甲斐かの論争があり、これに応えて「かいでみるよりするがよい」というのがある。その本意をご存じならば、相当な遊び人か落語好きといえようか。（谷村）

賛助会員一覧（順不同）

関東国際高等学校　村山ｻﾝﾄﾞﾗｰ先生
東京都渋谷区本町3-2-2　TEL03-3376-2244

江戸川学園取手中学高等学校　竹澤　賢司先生
茨城県取手市西1-37-1　TEL0297-74-8771

東洋高等学校　石井　和彦先生
東京都千代田区三崎町1-4-16　TEL03-3291-3824

桜丘中学高等学校　高橋　知仁先生
東京都北区滝野川1-51-12　TEL03-3910-6161

聖徳大学附属女子中学高等学校　川並　芳純先生
千葉県松戸市秋山600　TEL047-392-8111

麹町学園女子中高等学校　大野　博人先生
東京都千代田区麹町3-8　TEL03-3263-3014

春日部共栄中学高等学校　宇野　禎弘先生
埼玉県春日部市上大増新田213　TEL048-737-7611

東京立正中学高等学校　安原　正樹先生
東京都杉並区堀ノ内2-41-15　TEL03-3312-1111

八雲学園中学高等学校　横山　孝治先生
東京都目黒区八雲　2-14-1　TEL03-3717-1196

関東第一高等学校　副田　康孝先生
東京都江戸川区松島2-10-11　TEL03-3653-1541

武蔵野中学高等学校　筒井　敏夫夫先生
東京都北区西ヶ原4-56-20　TEL03-3910-0151

和洋国府台女子中学高等学校　和田　伸平先生
千葉県市川市国府台2-3-1　TEL047-371-1120

新渡戸文化中学高等学校　藤井三恵子先生
東京都中野区本町6-38-1　TEL03-3381-0196

東洋大学付属京北学園　杉原　米和先生
東京都北区赤羽台1-7-12　TEL03-5948-9113

大森学園高等学校　矢部　一紀先生
東京都大田区大森西3-2-12　TEL03-3762-7336

東京成徳大学中学高等学校　野中　修也先生
東京都北区豊島8-26-9　TEL03-3911-2786

日本工業大学駒場中学高等学校　河村　文夫先生
東京都目黒区駒場1-35-32　TEL03-3467-2130

青稜中学高等学校　伊東　充　先生
東京都品川区二葉1-6-6　TEL03-3782-1502

東京女子学園　実吉　幹夫先生
東京都港区芝4-1-30　TEL03-3451-6523

駒込中学高等学校　河合　孝允先生
東京都文京区千駄木5-6-25　TEL03-3828-4141

愛国中学高等学校　高橋　英夫先生
東京都江戸川区西小岩5-7-1　TEL03-3658-4111

安田学園中学高等学校　磯　正樹先生
東京都墨田区横綱2-2-25　TEL03-3624-2666

日本音楽高等学校　伊庭　崇　先生
東京都品川区豊町2-16-12　TEL03-3786-1711

立正大学付属立正中高等学校　今田　正利先生
東京都大田区西馬込1-5-1　TEL03-6303-7683

上野学園中学高等学校　高橋公美子先生
東京都台東区東上野4-24-12　TEL03-3842-1021

二松学舎大学付属高等学校　車田　忠継先生
東京都千代田区九段南2-1-32　TEL03-3261-9288

村田女子高等学校　二渡　道雄先生
東京都文京区本駒込2-29-1　TEL03-5940-4455

自由学園（中等部・高等部）　更科　幸一先生
東京都東久留米市学園町1-8-15　TEL042-422-3111

帝京中学高等学校　上瀧　栄治先生
東京都板橋区稲荷台27-1　TEL03-3963-7734

京華学園　今野　巌　先生
東京都文京区白山5-6-6　TEL03-3941-6493

千代田女学園　長尾　和雄先生
東京都千代田区四番町11　TEL03-3263-6551

日出中学高等学校　東　隆道先生
東京都目黒区目黒1-6-15　TEL03-3492-3388

共栄学園中学高等学校　松宮　博　先生
東京都葛飾区お花茶屋2-6-1　TEL03-3601-7136

中村中学校・高等学校　富田　義道先生
東京都江東区清澄2-3-15　TEL03-3642-8041

東京女子学院中学高等学校　宗内　信二先生
東京都練馬区関町北4-16-11　TEL03-5903-9559

㈱創開コミュニティー　小林　和光様
千葉県柏市柏2-7-22-202　TEL04-7164-6511

㈱私塾界　山田未知之様
豊島区東池袋1-39-1三善ビル　TEL03-3987-0838

㈱ＳＲＪ　板橋　玲　様
港区芝公園2-4-1柴パークB館102　TEL03-5425-6534

デザインオフィススズキ　鈴木　学　様
千葉県柏市柏687-6　TEL04-7164-8276

㈱ｴﾃﾞｭｹｰｼｮﾅﾙﾈｯﾄﾜｰｸ　斉藤　高志様
千代田区富士見町2-11-11 峰ﾋﾞﾙ3F　TEL03-5275-2101

小池教育研究所　小池　仁　様
愛媛県今治市大西町別府2380-1　TEL090-1451-9757

㈱POPER　栗原　慎吾様
新宿区南町34-1　ｸﾞﾚﾝﾊﾟｰｸ神楽坂305 TEL03-6892-1374

ＬＴＳ株式会社　堺　健司　様
千葉県柏市花野井1925-31　TEL090-2400-9515

㈱トーエイ　柏営業所　柿内　智之様
千葉県柏市若柴297-12　TEL04-7190-5890

㈱塾と教育社　加藤麻由美様
東京都千代田区飯田橋4-4-8-310　TEL03-6265-6855

株式会社 ブックモールジャパン　撹上　聡　様
埼玉県戸田市上戸田4-2-33　TEL048-447-7457

教育開発出版株式会社　糸井　幸男様
東京都杉並区下高井戸1-39-12　TEL03-3304-5321

株式会社ナイズ　谷村　紀嗣様
横浜市都筑区中川1-20-1　ｻﾌｧｰﾚ中川　TEL03-3304-5321